

ジョゼ・パシェコモザンビーク農業大臣の訪日について

平成 25 年 4 月 19 日
外務省国際協力局
国別開発協力第三課

モザンビークのジョゼ・コンドウグア・アントニオ・パシェコ農業大臣が 3 月 30 日～4 月 4 日、熱帯サバンナ農業開発プログラム(プロサバンナ)ハイレベル会合に出席するため訪日したところ、以下のとおり報告します。

1 農業大臣と外務省との意見交換にて、外務省より、パシェコ農業大臣の訪日を歓迎するとともに、熱帯サバンナ農業開発プログラム(プロサバンナ)は、モザンビークの国民の食料不足の解消のほか、農民の所得向上を通じた貧困削減の観点からも非常に重要であり、農業資源の潜在性に着目した息の長いプロジェクトであるため、引き続き協力していきたい旨述べました。また、本事業を円滑に推進する上で、小農との対話の重要性も強調しました。

2 パシェコ大臣から、モザンビークが日本から受けている支援に対する謝意が述べられるとともに、プロサバンナに対する強い期待が表明されました。また、農業開発を加速させるために、ルールに則った投資を歓迎する旨述べられ、その際に、小農を巻き込んだインクルーシブな開発が重要である点が強調されました。

(了)